

市民プールを作してほしい

市民プールは、昭和50年6月にオープンし、35年間市民の皆様が親しまれてきました。しかし、老朽化に伴って安全性の確保が難しくなったため、平成22年度に廃止しました。人口減少が進む中で、限られた財源を有効に活用する必要性を踏まえ、市民プールを再建設するかどうか検討を進めていきます。

なお、子どもを対象とした代替事業として、夏休み期間中の中央小学校プール無料開放とラグナシアプールの利用補助を実施しております。利用者の増加に伴い、ラグナシアプールの利用補助は、平成28年度から利用回数を1人2回に拡大しています。

公民館を借りて居場所づくりがしたい

本市では、公民館がいつでも誰でも気軽に立ち寄れる地域住民の交流拠点となることを目指しています。したがって、そのような活動により、地域の絆を深めていただけるのは大変喜ばしいことです。

公民館ではクラブやサークルが活動していますが、空きがあれば部屋を借りることができます。現在は、絵本の読み聞かせをはじめ、さまざまな活動が行われています。居場所づくりという方向性が同じであれば、一緒に活動することも可能かもしれません。もちろん、新しい活動として始めるのも良いと思います。実現していただけることを願っております。

子ども会をなくしてほしい

子ども会は、地域のひととの年齢を超えた交流が特徴です。子どもは学校ではできない経験を経験することができ、親にとっても同じ地域の子どもの親と知り合うきっかけになります。子どもや地域のつながりづくりのため、今後も地域の子ども会を支援するとともに、役員の負担軽減に取り組んでいきたいと考えています。

市長への手紙を実施しました

まちづくりへの意見やアイデアを直接市長に伝えることができる「市長への手紙」を実施しました。その中の一部の意見をお知らせします。

秘書広報課 ☎ 66-1145



道路の草を刈ってほしい

市道の草刈りは、昨年度まで年1回でしたが、今年度より年2回に増やしました。また、交通安全上支障のある箇所は、その都度、現業職員による除草を行っています。国県道も同様に、道路管理者である愛知県が年1回の草刈りを行い、要望箇所を随時で行っているとのことです。

また、地区ごとに道路愛護清掃活動があり、年に数回、道路の除草や清掃をしていただいています。このほか、「公共施設里親制度（アダプトプログラム）」を使った、ボランティアによる美化活動もあります。皆様にもこのような制度を利用いただき、市全体で景観の美化に取り組んでいただけたらと思います。

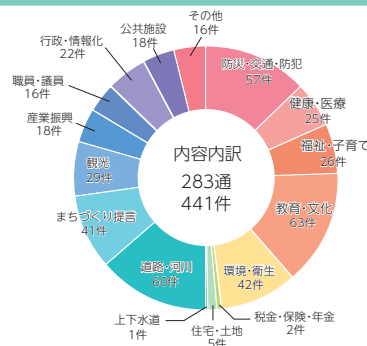


カフェやショッピングセンターを作してほしい

店舗や商業施設の出店は、事業者自らが候補地の商圏を分析し、その可否を判断することとなります。したがって、市として直接できることは、消費者となる人口が増え、商売しやすい場所になるよう、市内経済の全体的な活性化を進めていくことです。本市が優れた商圏地となるよう、産業振興を推進し、活気ある魅力的なまちづくりに努めてまいります。

市に関する お問い合わせはこちら

- ・市民の声投書箱（市役所ロビー）
- ・郵送（〒443-8601）
- ・お問い合わせメール ☎ 0212620



今回も多くの「市長への手紙」をいただき、ありがとうございます。いただいたお手紙から、皆さんの市政に対する思いを知ることができました。また、中には温かいメッセージや激励の言葉もあり、大変うれしく感じております。今後も引き続き、一人ひとりの声をしっかりとお聴きし、市民の皆さんと一緒に、市政に取り組みでいく所存です。

本市は、令和6年4月1日に市制施行70周年を迎えます。70周年を市全体で祝いながら、70周年のテーマ「愛し愛され 蒲郡」を通して、市民の皆さんが蒲郡を愛すると同時に、市民に限らず広く愛されるまちを目指してまいります。

蒲郡市長 鈴木 寿明

